

筋繊維の横紋はホルマリン漬け筋肉がよく 観察できる

三 尾 隆 弥

横紋筋の横紋は生の材料でも割合よく観察できますが、生徒にはもうひとつ観察が難しいようです。筋肉をホルマリン漬けにしておくことで意外に簡単にしかも多種のものについての横紋の違いなども観察されて、とても好都合である。

《材料》 魚（ベラ・フナなど）・カエル・豚肉・牛肉などの適当な大きさのかたまりを10%ホルマリンに保存したものを用いる。解剖実験などのときに、筋をこのホルマリン漬けにしておくことでよい。

《薬品》 1%サフラニン水溶液

《方法》

- (1) 魚の食用部の筋肉を約1cm平方・厚さ0.5cm程度に切り取り、シャーレに入れる。
- (2) 1%サフラニン水溶液を数滴おとし、材料を染色する。
- (3) まず材料をピンセットでほぐし、つぎに柄付針でこまかくほぐす。

(4) こまかくなった材料は、蒸留水を入れた別のシャーレにうつす。

(5) 筋繊維が数本集った程度の小さい材料を、先の細いピンセット（歯科または眼科用のもの）で、スライドグラス上とりカバーをかけ検鏡する（600倍ぐらいでよく見える）。

(6) このプレパラートをろ紙の間にはさみ少しおしつぶし、検鏡し、またおしつぶして、筋原繊維がばらばらになるまで続ける。

(7) 蛙・豚・牛、おのおのの材料についても同上的方法で検鏡する。

☆動物の種類によって横紋のようすが違っているかどうかをマイクロメーターを利用して観察させると興味深い。クラブ活動のテーマにもよいと考えられる。
☆横紋筋や心筋を比較してみても興味ある観察ができると考えられる。

— 県立神戸商大・生物学研究室 —

新刊紹介

蛸の国

市立須磨水族館長 井上喜平治 著

新書版, 400円, p.222, 昭和40年9月25日発行
神戸新聞社出版部発行

著者井上喜平治先生は、ご存じの神戸市立須磨水族館の館長さんです。この度、タコに関する素晴らしい書物を出版されました。著者も序文中で書かれているように、かつての水産試験場勤務中は産業的の立場から論じられ、現在の館長さんは社会教育の立場から、いろいろの資料を提供されている。

タコは本県と深い関係にあるのはご存じの通りです。何しろ明石、いな兵庫県はタコの県であり、何時でも話題になる。ことに近年、スタミナの資源として大いに利用(?)されていると言われる。目録の一部をみてもタコの雌雄、タコの恋愛、蛸配、タコの強食があるかと思えばタコを食べる魚がある。タコの信仰など、どのページも面白くことばかりが並んでいる。タコは酒の肴によいと聞いているが、本書はそれに上回ってよい酒の肴になる。

兵庫県の話題としてのタコ、いろいろの肴としてのタコ、社会教育者としてのタコを会員諸氏へおすすめしたい。